

「がれきに花を咲かせようプロジェクト」

～福島県立保原高等学校美術部の取り組みについて～

2011年3月に起きた東日本大震災において、福島県でも多くの被害が出ました。それに加え、東京電力福島第一原子力発電所の事故によって、放射能汚染という今まで誰もが経験したことの無い災害が発生し、これまでの平和な日常が一変してしまいました。

保原高校は北校舎が一部損壊して使用不能となりましたが、震災直後の混乱した状況の中で、被災各地でたくましく咲いた桜の花が被災者を勇気づけている映像を見たことをきっかけに、「自分たちにも何かできることが無いか？少しでも希望を持って日々を過ごすことができないか？」と考え、「花がれき」を制作したことからこのプロジェクトが始まりました。並行して福島原発の事故処理業務にあたる原発作業員の方々や、福島県全域の消防署・自衛隊の方々に、労をねぎらい感謝の気持ちを込めた絵手紙や手描きのクリスマスカードを贈りました。

被災者の住む仮設住宅を訪問し、いつまで続くかわからない仮住まいの方達にメッセージ付きの「花がれき壁掛け」を手渡して話を伺ったり、ワークショップを実施したり、仮設住宅の殺風景な壁に、気持ちが明るく楽しくなる壁画を描くなどの活動も行っています。

「がれきに花を咲かせようプロジェクト」の生徒たちは、自らが被災者でありながらも、震災で発生した瓦礫に花の絵を描くことで、負のイメージを持つ瓦礫を「花がれき」というプラスの価値を持つものに変え、それを様々な形で伝えることで復興はもちろん、人々の心に希望や元気が生まれるようにという願いを込めて活動しています。またこの活動を通して日本中・世界中の支援者の方々に感謝の気持ちを伝えたいとも考えています。

「がれきに花を咲かせようプロジェクト」担当 福島県立保原高等学校 教諭 番匠あつみ

【これまでの主な活動概要】 - 2011年4月より -

■「花がれき」制作（2011年4月～）

展示発表、贈呈など



■「原発作業員の方々へ応援の絵手紙」—東京電力㈱へ贈呈

2011年5月、 2012年5月、 2013年5月、 2013年12月(文芸部とコラボ)
2014年5月 ※応援絵手紙+ささりん張り子



■「感謝のX'masカード」-福島県内消防署・自衛隊へ郵送（2011年12月）

■「花がれき壁掛け」プレゼント（仮設訪問：2011年9月～）

伊達東仮設・宮代第一第二仮設・北幹線第一仮設・北幹線第二仮設・森合仮設・熊耳仮設・大木戸仮設



■ 交流活動

避難所訪問ワークショップ（梁川体育館：2011年6月）



「仮設訪問ワークショップ」（2011年12月～）

宮代第一第二仮設住宅（3回）・北幹線第二仮設住宅（2回）



映画作家・大林宣彦監督との交流（2012年2月～）



「浪江焼そばイベント」バンド演奏（2012 年 4 月：宮代第一仮設住宅）



「スプリングコンサート」(2014 年 3 月：伊達東仮設：文化部 4 団体コラボ)



■「仮設に花を咲かせよう！～壁画制作プロジェクト～」(2012 年 5 月～)

- ①宮代第一 ②宮代第一 ③宮代第一 ④北幹線第二 ⑤森合 ⑥宮代第二 ⑦森合
⑧北幹線第二 ⑨宮代第二 ⑩森合 ⑪大木戸 ⑫北幹線第二





■ ご支援により実現しました

大林宣彦監督「この空の花-長岡花火物語」上映会場で『花がれき展』（2012 年 4 月～）



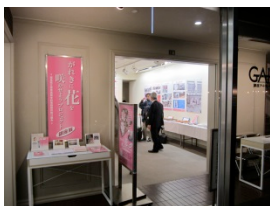
AKB48「So long!」ミュージックビデオ出演(2013 年 2 月)



「この空の花」上映会（保原高校）、大林宣彦監督、SKE48 松井珠理奈さん来校（2013 年 3 月）



「銀座展」開催、東京文化学院との交流（2013 年 2 月）



「花がれきデジタルアーカイブ」開通（日本 CA 様のご協力により：2014 年 3 月～）



「皇居外苑展」開催（2014 年 3 月 24 日～4 月 4 日）



原子力規制庁・環境省・復興庁を訪問し、委員長・大臣に花がれきを贈呈（2014 年 3 月）



■ 伊達市「仮置場景観対策絵画」制作

平地区仮置場に掲示（2014 年 2 月）

